

あいち県政レポート 2024年 新春号

＜編集・発行＞ 谷口ともみ事務所 〒466-0015 名古屋市昭和区御器所通 1-19
愛知の今、そして未来に向けた情報をお届けします。県政へのご意見や本紙へのご感想などをお寄せください。

あいち民主県議団

愛知県議会議員（名古屋市昭和区選出）

谷口ともみ



辰年の勢いで活力旺盛な一年に！



昭和42年に建てられた昭和警察署は、老朽化も著しく、バリアフリー化も十分ではありません。

今年は元旦から能登半島地震が発生しました。大変な状況の中で新年を過ごしてみえる被災地の皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

愛知県は中部ブロックの仲間として、石川県や能登半島の皆様を支援していく体制となっています。愛知県や名古屋市の方、病院関係の方を始め、多くの方々が被災地支援に入ってくださいしています。早期の復興を祈りつつ、私もまた被災地支援と愛知の皆様の災害対応に取り組んでまいります。

さて災害対応としても、警察署は大きな役割を担います。昭和警察署については、地域の皆様から庁舎の狭さや古さに対するご心配の声をいただき、本会議場での質問を始め、長らく要望を重ねてきました。

用地の確保などの課題により、なかなか建替えの目途が立ちませんでしたが、昨年11月には地域の代表の方々と愛知県公館で「昭和警察署庁舎の建替えに関する要望書」を知事に提出、12月25日、知事から「昭和区内にある東海農政局安田庁舎（安田通四丁目8）の移転計画を受け、その跡地を移転先として利用する方向で国と協議を進めている。」との発表がありました。まだ検討の段階ではありますが、一歩前進です。できるだけ早い移転建替えに向けて、尽力していきます。

また、昨年は、教育現場出身の議員として、また教育・スポーツ委員会委員として、教育関係の調査に多く出かけることができました。コロナ禍を経て、久しぶりに現場でお話を伺って、様々な知恵や工夫、想いを知ることができました。教育に関する課題は山積していますが、子どもたちの健やかな成長を応援するため、本年も教育環境整備に取り組んでまいります。

今年、甲辰（きのえたつ）の年は、それまでの努力が実って夢が叶いやすい年とも言われています。安心・安全な地域づくりを始め、皆様の笑顔が輝く、希望多き年となりますよう、これからも取り組んでまいります。

本年もご意見・ご支援の程どうぞよろしくお願いいたします。

愛知県議会議員

谷口ともみ



★愛知県では「令和6年能登半島地震」災害義援金を受け付けています。

- (1) 受付期間
1月12日(金)から3月15日(金)
- (2) 振込の場合の＜口座情報＞
三菱UFJ銀行愛知県庁出張所
口座番号 普通預金 0039762
口座名義

令和6年能登半島地震愛知県義援金
※詳しくは愛知県 HP まで

■谷口ともみ プロフィール■ 1963年生 / 千種高等学校・愛知教育大学を卒業後、名古屋市立中学校教員に（白山中→香流中→日比津中→萩山中）。在職中、愛知県教員組合女性部長・連合愛知副会長を務める。2007年愛知県議会議員に初当選。2020年新政あいち県議団団長。現在5期目。あいち民主県議団「子ども・若者議連」会長・「健康と食議連」事務局長。2023年度 教育・スポーツ委員会理事、アジア・アジアパラ競技大会推進特別委員会副委員長。

谷口ともみ
HP/SNS→



愛知県トピックス

※最新の情報は愛知県および愛知県議会ホームページでご確認ください。
愛知県検索 愛知県議会検索



あいちのスポーツリージョナルマガジン「aispo!」

愛知県スポーツ局スポーツ振興課では、フリーペーパー「aispo!」を発行し、愛知県のプロスポーツチームや実業団チームを中心とした県内のトップスポーツを紹介しています。

2023年冬号の表紙には、「愛知が生んだ世界の至宝」として岡崎出身のバレーボール選手、石川祐希選手が登場。県内のスポーツ施設や名鉄やリニモの主要各駅に配架されます。

記事は、愛知の「みる」スポーツ情報ポータルサイト「aispo!web」内で、バックナンバーも含めて掲載されています。スポーツを通じた愛知県の盛り上げや、アジア・アジアパラ競技大会に向けた情報をぜひご覧ください。

あいちモビリティイノベーションプロジェクト 「空飛ぶ軽トラ」SORA-MICHI

愛知県では、空と道が境目なくつながり、ひとつの交通環境としてドローンや空飛ぶクルマ、自動運転車両が同時に安全に制御された、災害にも強靱なモビリティ社会を2030年の実現を目指しています。

そのプロジェクト1号を担う株式会社プロドローンは、2023年10月26日に、東京ビッグサイトで開催された「Japan Mobility Show 2023」の愛知県ブースに出展し、新機体「空飛ぶ軽トラ」(コンセプトモデル)を発表しました。「空飛ぶ軽トラ」SORA-MICHIは、50kg積載で50km飛行可能なカーゴドローンです。平時には医薬品配送等で中山間部や離島の地域課題に貢献し、災害時は孤立集落等に救援物資を輸送することで減災に貢献します。

空と道をつなげる新しいモビリティで社会課題の解決をめざしています



物流クライシスを克服



移動手段の持続可能性を確保



災害時にドローンが人々を助ける仕組みを構築

ともみスナップ



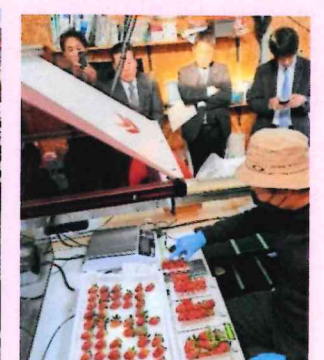
▲地域防災の要である消防団と、ホームファイヤーモニターズクラブの方々が一堂に会し、昭和区消防団連合観閲式が挙行されました



▲昭和区民まつりを始め、各地域で秋のイベントが開催されました。多くの笑顔にお会いすることができました。



▲コロナ禍が一段落し、餅つき大会が開催されました。久しぶりに餅つきをさせていただきました



▲あいち民主県議団・農業議連でスマート農業のモデル事業に参画しているイチゴ農家を視察しました

県政報告会のお申込み、各種相談ごと、ご意見等は谷口ともみ事務所まで

〒466-0015 名古屋市昭和区御器所通 1-19
TEL (052)741-1031 FAX (052)741-1081
メール tomomin@ruby.plala.or.jp

谷口ともみ事務所は荒畑駅より東へ約200M
山王通に面した北側の白い2階建ての建物です。



愛知県議会 令和5年12月定例議会報告

12月議会（12月1日～12月20日）では、国の補正予算に伴う補正予算等を含めた51議案と意見書等を審議、可決しました。あいち民主県議団からは「教員の働き方改革の推進及び教員不足の解消」と「PFAS対策の推進」についての意見書を提出しました。

12月議会時 県政を取り巻く 話題・課題より

- 愛知県県民栄誉賞** ～11月30日
史上初の八冠を達成した藤井聡太竜王・名人に授与
- 技能五輪国際大会** ～国が2028年
大会を日本・愛知へ招致することを決定
- 女性の活躍促進** ～「あいち女性の活躍促進
サミット2023」で「あいち女性の輝きカンパニー」
から優良企業を表彰
- 水素・アンモニアの社会実装の推進**
～司令塔となる部署「水素社会実装推進室」を設置
- あいちアール・ブリュット展10周年** ～障害の
ある方の「芸術の子カラ」を感じる取組を引き続き実施
- フレキシブルハイスクール** ～2025
年4月、4つの高校に全日制・定時制・通信制を一つ
の学校内に設置し、転籍や併修を可能に

12月議会 物価高騰等への対応等で補正予算約607億円

12月議会開会日に提出された補正予算に加え、11月29日に成立した国の補正予算に伴い、12月18日に増額補正予算が追加提出されました。国の「重点支援地方交付金（物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金）」を活用し、愛知県も物価高騰の影響を受けた事業者等への支援を続けます。

★ 一般会計 主な補正予算 ★

- 燃油価格高騰・物価高騰の影響を受ける事業者等に年度後半（2023年10月～2024年3月）も引き続き支援
LPガス販売事業者／私立学校／社会福祉施設／子ども食堂／医療機関／特別高圧電力を受電している中小企業／窯業・繊維事業者／貨物自動車運送事業者／農林漁業者／公共交通事業者等
- 中小企業者への資金繰り支援強化のため県融資制度に「原油・原材料高緊急対応枠」を設置
- 物価高騰に対応するため高等学校等奨学給付金制度を拡充
- 県立高等学校30校をデジタル人材育成拠点（DXハイスクール）に
- 新生児マスキング検査を拡大
- 豊橋市新アリーナの整備に向けた取組を支援
- ① ゼロエミッション自動車の普及加速
- ② 首都圏から愛知県への移住支援を推進 等

<補正予算から>

- ① ゼロエミッション自動車の普及加速に向けて、先導環境対応自動車導入促進費補助金を拡大
電気自動車（EV）、プラグインハイブリッド自動車（PHV）、燃料電池自動車（FCV）等の導入に対する補助金の申請増加を踏まえ、ゼロエミッション自動車の普及加速に向けた取組を拡大します。

- ◆ 補助対象者
旅客・貨物運送事業者、中小企業等の事業者、自動車リース事業者
- ◆ 主な補助対象車両・補助額

| 対象車両 | 補助額 |
|--------|--|
| EV乗用車 | 3ナンバー：（一充電走行距離(km)-200）×2千円 3ナンバー以外：一充電走行距離(km)×1千円 ※いずれも上限400千円 |
| PHV乗用車 | 200千円（定額） |
| FCV乗用車 | 600千円（定額） |

環境局地球温暖化対策課 自動車環境グループ

- ② 首都圏からの移住支援を推進

首都圏から移住して、県内の中小企業に就職した人への「移住支援金」を県内52市町村に補助します。
◆ 世帯：100万円 単身：60万円



教育・スポーツ委員会

委員会では、通信制高校卒業後の進路、医療的ケア児の通学支援、教員の多忙化解消などについての質疑がありました。谷口ともみは以下の3点について質問しました。

アジア・アジアパラ競技大会に向けて

開会まで3年を切ったアジア・アジアパラ競技大会（2026年秋開催）。開催時期には各地で練習会場の確保も必要ことから、県内各地の体育館などの使用において各地・各団体のイベント開催にも影響が出てくるのが想定されます。練習会場についての質問に、県からは、調整がついた施設から年度内をめどに具体的な情報を示していくことや利用者への影響を極力少なくするよう配慮していくとの答弁がありました。

また機運の盛り上げについても質問。フラッグツアーやPRイベント等の開催とともに、1000日前イベントの開催と、カウントダウンボードが中部国際空港とヒサヤオオドリパークに設置されるなどが紹介されました。



「アジア競技大会」は、四年に一度開催されるアジア最大のスポーツの祭典です。アジア・オリンピック評議会（OCA）が主催し、アジアの四十五の国と地域が参加します。アジア競技大会は、第二次世界大戦後まだ間もない一九五一年、スポーツを通じて絆を取り戻し、アジアの恒久平和に寄与したいとの願いを込め、日本を含む十一か国の参加の大会旗です。

アジア・アジアパラ競技大会推進特別委員会報告

9月、（公財）日本パラスポーツ協会の安岡由恵さんからアジアパラ競技大会の開催意義や、街を変えていく契機になることを聴取。共生社会を理解する授業教材IPC公認教材『I'm POSSIBLE（アイムポッシブル）』が紹介されました。

10月には、自転車競技会場となる「伊豆ベロドローム」とサッカー競技会場「小笠山総合運動公園エコパスタジアム」を調査。それぞれ国際大会の経験があり、配慮事項や選手の移送手段の確保等について伺いました。大会準備に活かしていきます。



↑ 特別委員会県外調査：エコパスタジアムにて

公立高校Web出願について

2024年春の公立高校の入試からWeb出願が始まります。その試行が10月～11月にかけて行われましたが、サーバーがダウンするなどの問題が発生しました。1月からの出願に向け、課題克服のための対応を確認しました。

県教育委員会からはシステムの処理能力の改善と、様々な負荷をかけたテストを行ってシステムの安定性を高めるなど、受験生が安心して高校入試に臨むことができるよう、最大限の努力をしていくとの答弁がありました。

教育行政と、教育の中立性・安定性・継続性について

2006年12月に新しい教育基本法が成立・施行され、2015年4月に新しい地方教育行政の組織及び運営に関する法律が施行され、教育委員会等の在り方が変わりました。

教育現場がさまざまな課題を担うようになってきましたが、第二次大戦の反省のもと、法的にも担保されている教育の中立性、安定性、継続性に対し、県教育委員会の姿勢を問いました。

県教育委員会からは、首長から独立した合議制の執行機関として教育委員会をおき、また、教育委員の任期設定から中立性、安定性、継続性を担保しているとの答弁がありました。横断的課題には教育委員会と首長と連携も必要であり、学校現場の声も聴きながら多様化した教育課題に対応していくとの答弁もありました。

教育・スポーツ委員会県外調査報告



↑ 小中高12年を一体的に捉えて学力向上を目指す「北海道教育委員会」、国際化・情報化への複合的な教育を目指す「道立札幌国際情報高騰学校」、体力向上に取り組む「札幌市立幌南小学校」、そして北広島市の「エスコンフィールド」を調査